

私は、2016 年 2 月 21 日から 3 月 12 日の 3 週間、台湾師範大学で中国語の研修に参加しました。大学に入ってから 1 年次と 2 年前期に中国語を履修していたものの、半年授業を取っていませんでしたので、出発前は不安もあり、実際に行ってみて語彙力のなさを悔しく思うこともありましたが、全体としては、楽しく、実りのある研修になりました。

中国語の授業は、オリエンテーションの日に行われる 1 対 1 の口頭テストでクラスが決められます。私のクラスは、日本人 6 人と韓国人 3 人の 9 人で、社会人や定年された方も一緒でした。先生が明るくパワフルな人だったこともあり、授業は話しやすく楽しい雰囲気でした。先生に指名され、答える機会が多くあり、クイズやゲーム形式のもの、ロールプレイなども交えて行われたので、教科書を見て話すのではなく、聞かれたことに自分の頭で考えて答えるということに慣れることができました。また、首都大で勉強していた普通話・簡体字ではなく、台湾で使われている繁体字での勉強だったので、初めは少し戸惑いましたが、慣れるにつれてその違いも面白く感じられるようになりました。

文化授業では、カンフー、台湾茶道、組みひもをやり、校外授業では、故宫博物館、十分、九份にバスで行きました。放課後や週末には、自分たちで地下鉄に乗って観光に出かけることもあり、淡水や中正紀念堂、龍山寺などを訪れました。

研修中の 3 週間は、大学の寮で生活しました。寮にはキッチンや冷蔵庫はありませんが、歩いて行けるところにスーパーやコンビニ、安くておいしいお店がありました。師大夜市と呼ばれる夜市もあります。

台湾では、日本製品や日本のキャラクターを見かけることが多々ありました。また観光地のお店の人だけでなく、銀行や公衆浴場などで台湾人から日本語で話しかけられることもありました。

研修の成果としての中国語能力の自己評価として、日常的な語彙が増えたことに加え、中国語に耳が慣れ、研修参加前よりも中国語が聞き取れるようになったと思います。何より、中国語の勉強を頑張っている日本人や、日本に興味を持ってくれている台湾人と出会えたことが良かったです。交流会で仲良くなった台湾人学生とは LINE を交換して、研修後もやりとりが続いています。

この研修に参加しようか迷っている人がいたら、ぜひ参加をお勧めしたいと思います。

